

RSウイルス母子免疫ワクチン

妊婦さん向け

定期接種のお知らせ

令和8年4月1日から、RSウイルス母子免疫ワクチンの定期予防接種が始まります。

どんな病気？

- ・RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。
- ・年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初めて感染した場合、より重症化しやすいと言われており、特に生後6か月以内に感染した場合、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。
- ・生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも1度は感染するといわれています。

ワクチンの効果

妊娠中にワクチンを接種することで、お母さんの体内で作られた抗体が赤ちゃんに移行し、RSウイルスによる発症や重症化を予防できます。

対象者

接種日時点で、妊娠28週0日から36週6日までの方

回数

妊娠ごとに1回

料金

無料

接種方法

詳細が決定次第お知らせします。

-お問合せ-

熊野町 健康推進課 (082-820-5637)